

広
報

大洲

No.43

— おおず —

きらめき創造 大洲市
—みとめあい ささえあう 肱川流域都市—



赤橋の愛称で親しまれている長浜大橋は、日本で最も古い現役の道路可動橋で、近代土木遺産として高い評価を受けています。橋の中央部が天に向かって伸びる様子は、見る者全てを魅了します。

この赤橋は、期間中イルミネーションで彩られ、観光客を始め、JR主催の「夕焼けパールトロッコ列車」で訪れる人達の目を引きつけています。

イルミネーションに彩られた赤橋と、黄金に輝く川面のコントラストが映える夏の夜の長浜を、ぜひ堪能ください。

★ 点灯期間 9月30日まで ★ 点灯時間 午後7時30分～午後9時

8
2008

平成20年8月号

- ☆ 6月定例市議会 P2~3
- ☆ 国民健康保険税変更のお知らせ P4~5
- ☆ 市民課窓口からのお知らせ P6~7
- ☆ 叙勲受章者紹介 P8
- ☆ こんにちは市長です P9
- ☆ 救急医療のお知らせ P23

発行/大洲市役所 編集/総務課

〒795-8601 大洲市大洲690-1 ☎ 24-2111

大洲市公式ホームページ <http://www.city.ozu.ehime.jp>



広報おおずは、環境に配慮し、再生紙及び大豆インキを使用しています。

6月定例会市議会開催

「安全・安心のまちづくり」を目指して

市長の議案提案内容（要旨）

平成20年第2回大洲市議会定例会が、6月11日から24日までの14日間の会期で開かれました。今回の議会では、平成20年度大洲市一般会計補正予算などの予算関係13件、大洲市国民健康保険条例の一部改正などの条例関係7件、人事案件1件、八幡浜・大洲地区広域市町村圏組合規約の変更などその他2件のあわせて23議案がいずれも原案のとおり可決、承認されました。また、議会による農業委員4人が推薦され、請願1件が審議されました。



5月22日、国の権限の地方への移譲を検討している地方分権改革推進委員会が第1次勧告の原案を公表しました。権限が国から地方自治体へ移されるのであれば、それに応じた財源も移されるべきであると考えますが、そういった具体的内容は現時点でははっきりしていないのが現状です。ただ、勧告案の一つで、分権委員会が都道府県に移譲すべき一級河川として挙げられている65本の河川の中に「脇川」が含まれていることは、脇川の治水を「安全・安心のまちづくり」の最も重要な柱としている当市にとっては、誠に由々しき事態と言わざるを得ません。

久米川では築堤工事が完成間近となり、鹿野川ダム改造については、ゲート改造の前段となる天端橋梁工事が完成し、順調な展開が図られています。さらに山鳥坂ダム関連工事についても、環境アセスメントが完了したことから、既に工事着手の準備が整っている段階です。

水害に悩む住民の心によくやく安堵の火がともろうとしているときに、正に水を差すかのような内容は断じて容認することはできません。国民を災害から守り生命と財産を保障することは言うにおよばず、江の川、由良川と共に治水対策が非常に難しい3河川に数えられるという特殊事情をもった脇

川は、当然、国が責任を持つべきだと思えます。過日、東京で開催された「水害サミット」の場でも私のこの考えを主張してきましたし、全国市長会としても共通認識のもと、当面する最重要課題として真剣な議論がされております。移譲が決定されるのは秋以降になるようですので、引き続き、真に地方が求めていることは何なのか、地方の声は声として、あらゆる機会を捉えながら精神的に行動し、訴えていきたいと思っております。

また、5月12日に発生しました中国・四川大地震では、発生以来、その被害状況の大きさ、被害者の救出・救護状況、日本の国際緊急援助隊の活動などが連日のように報道されました。一瞬にして瓦礫と化した街の悲惨な状況、校舎倒壊により子どもを亡くした親の悲しみの声に、他国の事とはいえ誠に切ない思いがしました。特に、校舎倒壊につきましては、手抜き工事が原因だとの憤りの声が高まり、提訴阻止や取材妨害といった地元政府の圧力もある中、遺族が裁判に訴える動きもみられました。そういった中国での悲惨な状況を受けて、地震大国である我が国でも学校耐震化は避けて通れない喫緊の課題として浮上してきました。当市においても小学校の統廃合計画の策定に取り組み、子どもの安全と、災害時には地域住民の避難場所となる施設の安全性の確保に努めなければならぬとの思いを強くしているところであります。

他方、全国的にますます深刻化する医師不足の問題につきましては、愛媛県においてもドクターバンク事業やドクタープール制度など、医師の確保に向けた取り組み

教育費

- 大洲東中学校において、環境をテーマにした具体的な教育実践を行います。 10万円
- お殿様公園内に埋蔵文化財センターを整備し、本市埋蔵文化財の効果的活用を図ります。 603万円
- 新図書館にモニュメントを設置します。 1,050万円

総務費

- 青島航路の運営を支援します。 273万円
- 村島地区、柳沢地区の祭り用具などの整備を支援します。 340万円

民生費

- 大洲市の施設にオストメイト対応のトイレを整備します。 49万円

農林水産業費

- 競争力の強い果樹産地の構築のため、体質強化に係る費用の一部を助成します。 125万円

6月定例会市議会



を進めていただいています。県内他市でもいろいろとご苦労をされていいますが、そのような中、当市としても河辺診療所の医師の確保に努めるべく、その処遇を改善することにしました。一方では経費の節減に努めている中ではあります。河辺地域における救急患者の迅速な対応のためには、医師に常駐していただくことが大前提です。地域住民の安心のよりどころとして、その確保のためには何としても必要な措置との思いでありますので、ぜひご理解を賜りたいと思います。

青島航路の運営を支援

青島と本土を結ぶ定期航路は、青島に暮らす皆さんの唯一の交通手段として、また生活必需品や郵便物の輸送手段として欠くことのできない存在であり、航路の運営を支援します。

人にやさしく互いに支え合う福祉のまちづくり

障害のある人も安心して地域社会で暮らし、障害者と健常者が互いに尊重し、支え合う共生社会の構築を目指します。総合福祉センターと市立大洲病院の障害者用トイレをオストメイト対応の障害者用多目的トイレにします。

競争力の強い果樹産地の構築

県の補助事業を活用し、梨の高品質生産活動・需要拡大活動を図ります。

地産地消拠点施設の整備と緑茶の振興

愛媛県知事宛に、「大洲市地産地消拠点施設整備計画に関する要望書」を提出し、現在愛媛県南予地域活性化特別対策本部で、前向きに検討をいただいています。緑茶の振興については、長期展望に立った新たな特産品の確立を図ろうとしているもので、遊休化の進んでいる国営開発農地などの土壌調査を行い、緑茶の推奨品種の検討を進めています。今後は、農家の方などに意向調査を行いたいと考えています。

環境を大切にしている生徒の育成を目指して

大洲東中学校を環境教育推進事業の指定校とし、環境をテーマにした体験学習を行います。

更なる観光振興を目指して（肱南周遊ルートの整備）

映画「男はつらいよ」シリーズの「寅次郎と殿様」のロケに使用され、4月に開園した「お殿様公園」内の旧加藤家離れを、国の補助を受けて埋蔵文化財センターとして改修整備します。

市民に親しんでいただける図書館にするために

図書館の利用増進と、市民の交流、子どもたちの人間形成に役立つことを目的として、財団法人日本宝くじ協会からの助成をいただき、シンボルとなるモニユメントを設置します。

補正予算の概要

一般会計補正予算の補正額は、6702万3千円の減額です。これにより本年度の一般会計予算総額は、235億7297万7千円で、前年度同期予算と比較いたしますと4億3895万4千円、1.8%の減となっております。

議会の同意・推薦を受けた人

(敬称略)

- 人権擁護委員候補者
- 谷本 京子 [平野町平地]
- 農業委員会委員
- 松本 勝子 [梅川]
- 鎌田 洋子 [市木]
- 渡邊 重孝 [柴]
- 久保 國夫 [肱川町山鳥坂]

大和(郷)地区整備事業 竣工式

国土交通省四国地方整備局と愛媛県、大洲市は、大和(郷)地区の浸水被害を解消し安全で快適な住環境の整備を図るため、国が水防対策特定河川事業、県が道路改良と大和川の改修事業、そして大洲市が土地区画整理事業を、平成13年度からそれぞれ連携して進めてきました。このほど工事が完成し、6月22日(日)大和公民館で、国・県・市合同による竣工式が、用地関係者を招いて行われました。

式には、祢屋誠国土交通省四国地方整備局長、加戸守行愛媛県知事、大森隆雄大洲市長ら関係者約百人が出席。式の中で祢屋整備局長は、「肱川の治水安全度はまだまだ低く、河川改修は急務の事業」とあいさつされ、また大森市長は、「大和地区の治水安全度と住環境は、格段に向上した。しかし、肱川流域には、いまだに無堤地区や暫定堤防が数多くあることから、流域住民の生活安全の確保のためにも、国・県においては引き続き、『肱川水系河川整備計画』に基づいた総合的な治水事業の促進をお願いしたい」とあいさつしました。



▶ あいさつする大森市長